

パウル・モーザー – ピアノ奏者兼指揮者でありウィーン・レジデンツ・オーケストラの創始者

Paul Moser (パウル・モーザー)、歎呼されたピアニストで指揮者。1959年ある有名な音楽家族に生まれる。ウィーンコンセルヴァトリウムの修士号課程クラスと、そしてザルツブルグではレオン・フライシャーと共にピアノと指揮を、同様にウィーンミュージックアカデミーで楽曲を学ぶ。オーストリア青少年賞をピアノ科で獲得した後、ヨーロッパ、アメリカそして南アフリカへとコンチェルトの巡業周遊へと路線を拡大してゆくこととなる。一流の管弦楽団と指揮者と共に、大成功を収めた数多くのソロコンチェルトに出演。NY、パリ、ローマ、ミラノ、ロンドンそしてウィーンのラジオ、テレビの音楽界の中心にゲスト出演。同時に指揮者としてのキャリアも確実に獲得していった。ゲスト指揮者としてギエール、ブラティスラヴァ、ブダペスト、フィレンツェのフィルハーモニーオーケストラ、ウィナーレジデンツオーケストラ等の数多くの優れたオーケストラと共演。観衆からもジャーナリズムからも熱狂的に受け入れられる。オーストリアの新聞`Neue Zeit`は彼について`魅力的な詩人`と描写。ウィナーレジデンツオーケストラのソリスト、指揮者として妖しい魅力的な資質をもって、今までにない雰囲気をかもし出した。1998年以来、ウィナーレジデンツオーケストラの主任指揮者、音楽監督を務める。ピアノを弾きながらの指揮であろうと、譜面台に立っての指揮であろうと、パウル・モーザーによるコンサートはモーツァルトとシュトラウスを思い浮かべる確実なウィーン伝統へとあなたを導いていくでしょう。

パウル・モーザー、2004年4月6日逝去。あまりに早すぎた死であった。

プレスの声:

Paul Moser war der Star eines von 100.000 Menschen besuchten Open-Air Konzertes auf dem Internationalen Festival von Marakesch.

Kronen Zeitung, Wien

Ultime Pennellate al Pianoforte – suprema perfezione pianistica. Paul Moser e la Wiener Residenzorchester – un Mozart interpretato con colorazioni e spirito incomparabili.

Il resto del Carlino, Bologna

Paul Moser's piano recital was an event of musical wonder of the highest order. ... a rare talent...mesmerising when playing the Chopin ballades, stunning in his delivery of Haydn sonatas. His "Toccata" is a hauntingly melodic masterpiece of rare and delicate beauty.

Prof. A. Ugrinsky, Director - Hofstra Cultural Center, New York

The audience was enthusiastic that Paul Moser had to play another encore, when he had already changed his tailcoat to a jacket. It was a great pleasure to listen.

Allgemeine Zeitung Hanover

Paul Moser played like a magic poet. With sensitive elegance, he managed to create an atmosphere of exiting tension in Mozarts piano concerto KV 414.

Neue Zeit, Austria